



令和4年6月1日（水）

国土交通省 関東地方整備局

富士川砂防事務所

## 記者発表資料

「R4 はるきがわほうかいちたいさくこうじ春木川崩壊地対策工事」において、「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」、「見積もり活用方式」、「地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更」の試行、「余裕期間制度（フレックス方式）の活用」を採用します。

今回発注する「R4春木川崩壊地対策工事」では、より多くの企業に参加していただきたく、以下の取り組みを試行しております。

今回発注する「R4春木川崩壊地対策工事」については、以下の対策を試行・採用します。

### ①公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）

競争参加者が少数と見込まれる工事について、対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は災害活動実績を加算点としています。

### ②見積もり活用方式

個別の現場条件が反映しきれない、実勢価格の変化が著しいなど標準積算との乖離が生じる項目について見積もりを求め活用します。

### ③地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更

本地域は、地域外からの労働者確保が必要となることが予想され、宿泊費や労働者の赴任手当など標準積算と実際にかかる費用に乖離が考えられるため、共通仮設費及び現場管理費の対象項目について、その妥当性を確認の上、実績変更する試行を行います。

### ④余裕期間制度（フレックス方式）

受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者の確保等の準備を行うことが出来る余裕期間を設定できると共に、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

富士川砂防事務所HP <https://www.ktr.mlit.go.jp/fujikawa/>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・山梨県政記者クラブ・長野県庁会見場

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 富士川砂防事務所 電話055-252-7108(代)  
副所長（技） いいはら 飯原 まさとし 征敏  
工務課長 いしきた 石北 はじめ 肇

〔工事概要〕

- (1) 工 事 名：R4春木川崩壊地対策工事
- (2) 施工場所：山梨県南巨摩郡早川町赤沢地先
- (3) 全体工期：契約締結の翌日から令和5年12月25日まで  
〈余裕期間制度（フレックス方式）〉
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札（総合評価落札方式）（試行）
- (5) 工事種別：法面処理工事
- (6) 工事内容（概要）

斜面对策	1 式
法面整形工	280m <sup>2</sup>
落石防止網工	2,700m <sup>2</sup>
仮設工	1 式
- (7) そ の 他：「見積もり活用方式」、「地域外からの労働者確保に要する  
間接費の設計変更」を試行

《公募型指名競争入札（総合評価落札方式）の試行》

競争参加者が少数と見込まれる工事について、対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は災害活動実績を加算点としています。

《「見積もり活用方式」の試行》

個別の現場条件が反映しきれない、実勢価格の変化が著しいなど標準積算との乖離が生じる項目について見積もりを求め活用します。

《地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更の試行》

「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用について、その妥当性を確認のうえ設計変更の対象とします。

営 繕 費：労働者送迎費、宿泊費、借上費

労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事・通勤等に要する費用

構成費目		率分に含まれる主な項目
営繕費	借上費	建物を建築する代わりに貸しビル、マンション、民家等を長期借上げした場合に要した費用
	宿泊費	労働者が、旅館・ホテル等に宿泊した場合に要した費用
	労働者送迎費	労働者をマイクロバス等で日々当該現場に送迎輸

		送するために要した費用
現場管理費	労務管理費	募集・解散費、賃金以外の食事・通勤等に要する費用

#### 《余裕期間制度（フレックス）の活用》

本工事は、受注者の円滑な工事施行体制の確保を図るため、事前に建築資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者があらかじめ設定した全体工期の中で、受注者は工事の始期と終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者の配置が不要となります。また、余裕期間内は工事契約款第11条に定める現場代理人の常駐を要しません。

#### 〔入札契約スケジュール〕

- ① 入札公告、入札説明書、  
見積依頼書 交付 : 令和 4年 6月1日（水）
- ② 参加表明確認申請書、  
技術資料、見積書等 提出期限 : 令和 4年 6月16日（木）
- ③ 入札書、工事費内訳書 提出期限 : 令和 4年 7月14日（木）
- ④ 開札日 : 令和 4年 7月20日（水）

# 公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は  
一般土木  
C,B+C工事  
維持修繕等

## 【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出  
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮  
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ 指名競争・総合評価落札方式  
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

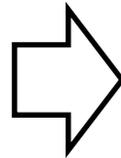
公示

(工事内容・入札時期・落札方式等)



工事参加希望の意思確認・技術資料の提出

(参加意思表明申請書+必要資料の提出)



参加要件は企業とし、  
技術者要件は求めない

指名基準による選定



発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価  
落札方式の手続き



指名競争・総合評価落札方式により落札決定

(標準点100点+加算点(11点)+施工体制  
評価点(30点))÷入札価格=評価値  
※加算点は災害活動実績+賃上げの実施  
に関する評価

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

災害協定の締結や活動に  
係るインセンティブの向上